

## 『資源循環型社会構築とベイエリアの再生』研究フォーラム

- “資源循環～都市再生”がもたらす大阪湾ベイエリアの活性化 - (ご案内)

主 催 (財)地域 地盤 環境 研究所 (GRI)  
(財)関西環境管理技術センター(エマテック カンサイ)  
後 援(依頼中) (社)土木学会関西支部, (社)地盤工学会関西支部  
国土交通省近畿地方整備局  
大阪府, 兵庫県, 大阪市, 神戸市, 堺市  
阪神高速道路(株)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、(財)地域 地盤 環境 研究所と(財)関西環境管理技術センターに格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、両財団は、標記研究フォーラムを別紙開催趣旨のもと、9 団体からの後援をいただいて開催いたします。本研究フォーラムが、公共事業者間および建設・環境事業関係者間の枠を超えて、大阪湾ベイエリアの活性化に向けた起爆剤となることを願っております。

是非、関係各位お誘いあわせのうえ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

### 記

日 時 平成 20 年 4 月 30 日(水) 14:00 ~ 18:00  
会 場 建設交流館 グリーンホール (大阪市西区立売堀 2-1-2 地下鉄・本町駅 22 番 23 番出口より徒歩 5 分)  
参加費 2,000 円 **当日会場にて**  
定 員 250 名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)  
テキスト レジユメ(pptシート)A4判20ページ程度 (後日、フォーラムを取りまとめた資料を E-mail にてご送付)

プログラム 進行役 GRI 橋本 正

14:00 ~ 14:05	開会挨拶	(財)地域 地盤 環境 研究所 理事長 足立紀尚
14:05 ~ 14:40	講演 「資源循環型社会を目指しての建設副産物リサイクルの展望」	京都大学大学院 教授 嘉門雅史
14:40 ~ 15:15	講演 「循環型社会構築における循環資源の利用の意義」	(独)国立環境研究所 循環技術システム研究室 室長 大迫政浩
15:15 ~ 15:40	講演 「資源循環型社会構築に向けての阪神高速道路の取組み」	阪神高速道路(株) 建設事業部長 杉山守久
15:40 ~ 15:55	休憩	
15:55 ~ 16:40	講演 「大阪ベイエリアからの都市再生」	元大阪市港湾局長・元 USJ 社長 阪田 晃
16:45 ~ 17:55	パネルディスカッション テーマ「資源循環型社会構築とベイエリアの再生」	コーディネーター：深澤淳志(国土交通省近畿地方整備局 企画部長) パネラー：嘉門雅史, 大迫政浩, 阪田 晃, 杉山守久 古川博司(大阪府都市整備部 港湾局長)
17:55 ~ 18:00	閉会挨拶	(財)関西環境管理技術センター 理事長 松尾 明

### お申込み方法

E-mail にて、もしくは別紙「研究フォーラム 参加申込用紙」に必要事項をご記入のうえ FAX にて、下記へお申し込みください。参加票を E-mail にて送付いたします。

申込先：(財)地域 地盤 環境 研究所 企画室 (有本)

TEL.06-6539-2979 Fax.06-6578-6255 E-mail: arimoto@geor.or.jp

平成 20 年 3 月吉日

関係各位 様

## 『資源循環型社会構築とベイエリアの再生』研究フォーラム

- “資源循環～都市再生”がもたらす大阪湾ベイエリアの活性化 -

### 開催趣旨

(財)地域 地盤 環境 研究所 (GRI)

(財)関西環境管理技術センター(エマテック カンサイ)

地球温暖化や資源枯渇化などが現実味を増すなかで、大量廃棄型社会から循環型社会への転換は緊急の課題であり、Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)による「資源循環型社会システムの構築」が強く求められています。

国土交通省と環境省では「資源循環型社会」構築の観点に立ち、建設副産物の中で再資源化率がきわめて低かった建設汚泥について、一定基準に基づく再生利用および適正処理を図るための方策を示すとともに、建設汚泥の再生利用を促進するための指定制度の積極的な運用を促しています。

その具体策としてこのたび、大和川線建設工事から排出されるシールド建設汚泥を公有水面の埋め立て造成事業を受入対象とする、個別指定方式によるリサイクル利用が提言され、新しい試みとして実現の方向に向かいつつあります。今回の提言は、埋め立て造成には山土や建設発生土を利用するという従来の固定観念に変革を求める時代が来たことを示唆しています。

一方で今回の提言は、異なる公共事業者間での事業連携の必要性や、大阪湾ベイエリアでの埋め立て用材の有効性を探るモデルケースとしても注目されるものといえましょう。大阪湾ベイエリアでは、整備の計画及び未利用の水面等が数多くあり、行財政改革にともなう公共事業の抑制がさらに拍車をかけるという悪循環を呈しています。これら遊休地の再生手法の1つとして建設発生土等を再資源化した建設資材を有効活用し、安全かつ安価な埋め立て造成地を整備することは、大阪湾ベイエリアからの都市再生の重要性を喚起し、それに必要な交通ネットワークなどインフラ整備の必要性を促す新たなきっかけになると考えられます。

今回の研究フォーラムは、関係各位に将来企画に向けた可能性や夢を抱いていただくとともに、建設事業関係者と環境事業関係者の一体化および啓蒙をも念頭に置き、資源循環～環境保全～都市再生ビジョンについての1つの方向性を示すものであります。

関係各位におかれましては、開催趣旨にご賛同を賜り、何卒ご支援、ご協力をいただきたくお願い申し上げます。

# FAX.送信票

受付番号

宛名：(財)地域 地盤 環境 研究所 企画室

担当：有本

FAX：06-6578-6255

(TEL：06-6539-2979)

『資源循環型社会構築とベイエリアの再生』研究フォーラム

## 参加申込用紙

### 【ご回答者】

御名前： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX番号： \_\_\_\_\_

E-mailアドレス： \_\_\_\_\_

### 参加者

氏名	所属	役職	E-mailアドレス (注1)	領収証宛名 (注2)
1				
2				
3				
4				
5				

(注1) 後日、講演内容を取りまとめた資料をE-mailにてご送付しますので、ご記入ください。

(注2) 当日受付の都合上、領収証の宛名が必要な方は、ご記入ください。

**4月25日(金)まで**にお申し込みください。

5名以上お申し込みの場合は、本状をコピーしてお使いください。

E-mailでお申し込みいただいても結構です。この場合は、上記の内容をご記入ください。

(あるいは、本状をPDF化して添付してください) E-Mailアドレス: arimoto@geor.or.jp